

くたに福祉だより

第69号

久谷地区社会福祉協議会
発行責任者 大西 一教

久谷校区のあらまし
面積 44.65km²
世帯数 3,459世帯
(内訳)(荏原2,830 坂本629)
人口 8,805人
(内訳)(荏原7,441 坂本1,364)
令和7年10月1日現在

秋の終わりが近づくと今日この頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
さて、このたびご夫婦で「結婚六十周年」を迎えられます皆様、満百歳・米寿（八十八歳）を迎えられます皆様おめでとうございます。ふるさと「久谷」でお元気に過ごされ、今後ますますのご長寿を心よりお祈り申し上げます。
今年も昨年よりも敬老会を開催された地区も増えてきました。交流の場が増えたことで、普段なかなかお会いできない方とも十分お話され楽しい時間をすごされたことと存じます。
久谷地区社会福祉協議会でもサロン活動の支援など、このような出合いの場を提供できるように努めておりますので、今後とも地区社会福祉協

お祝いのことば



久谷地区社会福祉協議会
会長 大西 一教

会長あいさつ

議会の活動にご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



浄瑠璃町
大野 保司さん
サエ子さん



東方町
岡 秀明さん
平 明子さん



令和7年度
結婚60年目
表彰の皆さん

佐伯智子さん	尾崎光志さん	田中照子さん	三好俊彦さん	武智美鈴さん	大森美智子さん	白方正美さん	門岡武男さん	上野町	河本信一さん	田村比佐重さん
智三さん	晃三さん	照子さん	一久さん	真吾さん	理さん	洋子さん	武子さん	西野町	房美さん	勝美さん
								東方町	宗賢さん	比佐重さん
								山口定雄さん	保子さん	勝美さん
								清家啓さん	宗賢さん	勝美さん
								松本勝利さん	宗賢さん	勝美さん
								ナナコさん	宗賢さん	勝美さん



各地域の敬老会

大橋町



子どもたちから素敵なプレゼントをもらい、おしゃべりに花が咲きました。

窪野町



コロナを経て六年ぶりの開催、懐かしい顔をみつけて話し合い笑顔溢れる楽しい会でした。

浄瑠璃町



フルート奏者・光永佳代さんの生演奏や大正琴の演奏を聞きながらひと時を過ごしました。

津吉町いきいきサロン 葵のご紹介

高年齢者の集いの場づくりを目指し、有志5名と社会福祉協議会のサロンコーディネーターと相談を重ねてまいりました。令和5年11月から令和6年3月までは準備期間として活動を行い、令和6年4月より「緩和型サロン・いきいきサロン葵」として正式にスタート。登録者17名で始まり、現在は21名に増え、にぎやかに活動しています。
毎月の活動内容
毎月最終水曜日の午前10時から、

今後の予定

津吉町からの補助金を活用し、講師を招いての料理教室やレクリエーションなど、活動の幅を広げていく予定です。
地域の活性化に少しでも貢献できればと願っています。
まずはラジオ体操で身体をほぐします。その後は、脳トレ（間違い探し・計算パズル・難読漢字など）を楽しみながら、フレイル予防に取り組みます。さらに、手芸や小物づくり、ゲームなども取り入れ、笑顔あふれる時間を過ごしています。年2回は、町内の介護施設のケアマネジャーさんにもご参加いただき、いつもとは違った雰囲気の中で交流を深めています。活動の締めくくりには茶話会を開催し、近況報告を交えながら、和やかなひとときを楽しんでいます。
年度末には「ぬり絵コンテスト」も開催予定。優秀作品には豪華景品もご用意しています。

サロン世話人・高市千枝美



地域とともに

親子ラジオ体操



長年続く「小村町稲荷神社のラジオ体操最終日・境内清掃」の風景です。夏休み中は、お盆の週を除き、元気にラジオ体操を行っています。世代を超えて受け継がれる、地域の大切なひとコマです。

あとかき

今年の夏は異常な暑さで、朝から晩まで真夏日な感じでした。10月に入り朝晩の肌寒さと、昼間の暑さとの気温差に体調管理に苦労する日々です。この「くたに福祉だより」が届く頃はどの様な気候に成っていますでしょうか？
編集にあたり、原稿依頼にご協力頂いた皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。この1冊が、地域とのつながりを感じて頂けるきっかけとなれば幸いです。年末へ向けインフルエンザにも用心しご自愛下さいませ。
編集部一同

お祝い
百歳になられる方

- 〔恵原町〕 平岡 チヅ子 さん
- 〔大橋町〕 藤本 房子 さん
- 〔久谷町〕 相原 忠重 さん
- 〔藤原〕 藤原 テルエ さん
- 〔浄瑠璃町〕 三神 ヤヨイ さん
- 〔津吉町〕 石原 美津子 さん
- 〔東方町〕 渡部 照子 さん

お祝い
米寿になられる方

- 〔上野町〕 山下 裕 さん
- 佐野 彰男 さん
- 栗原 久美子 さん
- 川崎 サカエ さん
- 松友 艶子 さん
- 高見 キヨ子 さん
- 白方 信夫 さん
- 門岡 武男 さん
- 重永 征子 さん
- 蝶野 代里子 さん

- 〔西野町〕 新谷 正幸 さん
- 熱田 豊 さん

- 〔中野町〕 田村 比佐重 さん
- 安平 末子 さん
- 東 絹江 さん

- 〔東方町〕 山口 定雄 さん
- 河本 イサミ さん
- 武知 キヨコ さん
- 松田 ヒロ子 さん

- 〔東方団地〕 清家 啓 さん
- 松本 勝利 さん
- 大藤 恵 さん



令和七年六月
松山市民生児童委員会大会
優良民生委員・児童委員
栗原 陽一

令和七年九月
松山市福祉大会
民生委員・児童委員功労賞
池田 邦夫
栗原 陽一
篠原 浩司
橋 喜美香
渡邊 邦彦

地域福祉活動功労団体（市長表彰）
坂本放課後子ども教室
きらきらクラブ
ボランティア活動功労者
（市社協会長表彰）
安永 勉
（荏原地区高齢クラブ会長）

地域の方から寄稿

徳と運

縁覚 宗久

運は巡る。だから運命という。それではどうすれば良い運命が巡ってくるのだろうか。古人曰く「身に反りて徳を積み」（良い運を巡らせるためには徳を積み）と教えている。それでは徳を積むとはどう云うことなのか、思いつくまに書いてみる。

- ① 先ず夢と情熱。何事も夢と情熱から始まる。これ無くしては何も始まらない。
- ② 自分は運が良いと思うこと。自分は運が悪いと思っている人に良い運は近寄ってこない。
- ③ 成功は他人のおかげ、失敗は自分の責任と思うこと。つまり自反己の人、自責の人であること。
- ④ 与えられた環境のなかで不平不満を言わず最善の努力をすること。そんな人に天は梯子を降ろしてくれる。
- ⑤ してくれないと思ったらそれでおしまい。先ず先にしてあげること、与えること。利他の人であること。
- ⑥ 良き師と良き友を持つこと。良き師友を持つことは運の全てである。

⑦ 信頼し合える仲間を作り、その仲間とベクトルを合わせる。これは、32,000人がJALを倒産させ、同じ32,000人がJALを復活させたことでも明らかである。

⑧ 人の基本は誠である。小さな約束を守る。自分の今の職業に徹底すること。そうすると安心立命し、次から次へと夢と情熱が湧いてくる。

徳を積むと云うことは特別なことのように思えるが、決して特別なことではない。日常の生き様であると思うのだが各位はどう思われるだろうか。

坂本小学校
「坂本地区の自然と文化を学ぶ体験学習」

坂本小学校の五・六年生は、総合的な学習の時間を活用し、坂本地区の豊かな自然や伝統文化を守り伝えるための取組について、地域の方々と交流しながら学んでいます。

四月には、シコクカッソウの植栽活動をくぼの里山保存会の方々と行いました。シコクカッソウは、愛媛県のレッドデータブック（2014年）において絶滅危惧1B類（EN）に指定されている、四国の固有種です。園芸目的での採取や森林の環境変化により数が減少していることから、地域の方々が保全活動を行ってくださっています。子どもたちは実際に植栽作業を体験し、様々な感想をもちました。「去年より数が減っていて驚いた。もっと大切にしなければいけないと思った。」「保全活動をしている地域の方々に感謝したい。」「この活動を次の世代にもつないでいきたい。」「自然への関心を高め、自分たちの手で里山を守っていこうという思いも芽生えています。」

また、六月には、地域で田植え体験を行いました。高齢クラブの方々、地域の幼稚園児との交流もあり、和やかな雰囲気の中、昔ながらの手作業で苗を植えるという貴重な経験をすることができました。ぬかるんだ田の中を歩く難しさや、苗を均等に植える工夫を実感しました。米づくりの伝統に触れるとともに、人々の工夫や努力に目を向けるよい機会となりました。

これらの活動を通じて、子どもたちは坂本地区の自然や文化に対する理解を深めるとともに、「これからのこの自然を守っていきたい。」「地域の伝統を大事にしたい。」「といった前向きな思いを抱いています。」

今後学校と地域が連携し、地域に根ざした教育活動を行うことで、子どもたちのふるさとに対する愛着と自ら行動する力を育てていきたいと思えます。

6月 高齢クラブ・幼稚園児と田植えで交流



シコクカッソウ

4月 くぼの里山保存会の皆さんとシコクカッソウの植栽

